

# 「PBXシステム」 製品分類別基準 (PCR 番号:BS-01)

注) この基準は、エコリーフプログラム実施用に作成されたものです。無断で、一部又は全部を、他の目的で使用することを禁止致します。

No	大項目	中項目	小項目	取り決め事項
1	PCR 設定の前提	製品	定義	企業で内線電話同士の接続や、加入者電話網・IPネットワークなどへの接続を行うシステム。端末には各種商品が接続可能な為、基本システムとして主装置・インターフェース装置までで構成する。それ以外はオプションとする。
2			範囲	最小販売単位のシステムに含まれる主装置、インターフェース装置と梱包材一式。(付属品、取扱説明書をシステムと一緒に販売する時は含める) 但し、通信ケーブルと PC 本体及びルーター、モデム等のネットワーク周辺機器を除く。
3		ステージ	範囲	全ライフサイクルステージ
4	製品データ シート (LCI入力 データ)	製造ステージ 情報 (製品情報)	製品材料又は、 原料構成	<ol style="list-style-type: none"> <li>部品等 A 扱いの部品(加工、組立負荷を自身で把握する部品) (1)下記機能のうち、1つ以上を搭載している実装回路基板全ての実装工程の組立負荷をフォアグラウンドで算出する。 ①通信IC ②CPU ③記憶IC ・但し、分離可能な配線材料、等は除く。</li> <li>製品データシートに記載する材料分類名 普通鋼、SUS、アルミニウム、銅、その他金属、熱可塑性樹脂、ゴム、ガラス、紙、実装回路基板とし、この10 項目以外は使用する原単位名を記録する。</li> <li>資源投資量 製品となった段階の材料質量で算出する。 但し一部の部材が把握できない場合の特例として、製品全質量の90%以上の材料を把握し、残りの質量分を種類別に比例配分して100%換算してもよいものとする。</li> <li>オープンリサイクル/リユースを含む場合 次の項目に注意して各社で妥当と判断されるシナリオを設定して計上できる。なお設定の根拠の妥当性は検証の対象となる。 (1)「間接影響」範囲とする工程 (2)「間接影響」範囲内の排除・負荷</li> </ol>
5			投入消費排出される 物質とエネルギー	<ol style="list-style-type: none"> <li>投入・消費項目 電力、A 重油、軽油、灯油、ガソリン、LPG(都市ガス)、LPG、都市用水、工業用水、地下水 但し、部品等 A に関する組み立てエネルギーは、付図1に基づく。</li> <li>排出項目 特定せず。但し、各社で重要と判断したものを記載する。</li> <li>輸送負荷 原則として投入物質(原材料・エネルギー)の輸送負荷は計上しない。 但し、部品等 A 扱いの部品についての製造サイト間の輸送負荷は計上する。</li> <li>副産物・副資材 計上しない。 ・副産物とは、製造工程においてその主な目的として製造される製品とは別に、副次的に発生して有価売却される生成物を指す。 ・副資材とは、製造サイトで投入され、また廃棄される資材で製品と共に出荷されないものを指す。</li> </ol>
6	製品データ シート (LCI入力 データ)	物流ステージ 情報	製品の輸送 条件	<ol style="list-style-type: none"> <li>製造元から販売先までの輸送 手段、積載率は、申請各社が設定するモデルに基づく。</li> <li>国内輸送距離 実際の輸送距離を算出し、500km に換算して計上する。</li> <li>海外から国内への製品輸送負荷 製造サイトからの陸上及び海上輸送負荷を計上する。</li> </ol>

No	大項目	中項目	小項目	取り決め事項
7	製品データシート (LCI入力)	使用ステージ情報	製品の使用条件	<p>1) 電話機 電力測定用電話機は、カタログのシステムに記載している機種を使用する。但し、カタログに記載のない場合は、システム推奨電話機を使用する。</p> <p>2) 使用条件 ・使用期間 : 5年間 1年あたりの365日(閏年は含まない)、24時間通電とする。 そのうち、週5日×4週間×12ヶ月=240日を稼働日とし、稼働日は1日24時間のうち8時間を稼働時間とし、16時間は待機時間とする。 残りの125日(365日-240日)は1日24時間、待機時間とする。</p> <p>3) 測定方法 (1) 商品ランク 以下のタイプに分類する。 ・小容量タイプ : 100ポート以下 ・中容量タイプ : 100ポート超1000ポート以下 ・大容量タイプ : 1000ポート超</p> <p>(2) 測定構成 ・接続ポート数は製品の最大ポート数の70%とする。 ・内線外線の実装率はタイプにより以下の割合とする。 ・小容量タイプ : 内線75% 外線25% ・中容量タイプ : 内線85% 外線15% ・大容量タイプ : 内線90% 外線10% (端数は四捨五入とする) 但し、外線、内線を専用で割り付けている機器については、以下の構成とする。 ・外線数=外線最大収容数×70% ・内線数=内線最大収容数×70% ※PBXは将来の増設のために、最大構成で使用されることはほとんどないため、70%としている。</p> <p>(3) 測定条件 測定構成の数の電話機、外線を接続し、以下の条件で消費電力を測定する。 ※測定構成の実現が困難な場合は、基本測定結果(例えば、電話機1台当たりの消費電力)を元にその構成を実現した場合の消費電力を算出することも可能とする。</p> <p>① 待機時間 ・全外線/全電話機アイドル状態 ・電話機までの配線距離はその仕様のセンターの距離とする</p> <p>② 稼働時間 ・稼働時間(8H/日)における動作条件は商品ランクにより、それぞれ次の稼働条件とする。 小容量タイプ: アイドル状態75%、動作状態25%(着信中5%、通話中20%) 中容量タイプ: アイドル状態80%、動作状態20%(着信中5%、通話中15%) 大容量タイプ: アイドル状態85%、動作状態15%(着信中5%、通話中10%) ・アイドル状態は、①待機時間と同じ測定条件とする。 ・動作状態(着信中、通話中)は、それぞれの平均的な使用条件とする。 電話機までの配線距離はその仕様のセンターの距離、着信音量はセンター、通話音量はセンター等 ※測定結果は、「システムとしての消費電力」と、その内訳として「本体」、「端末」のそれぞれ消費電力の測定を行なう。</p> <p>4) 消耗品・交換部品 使用ステージでの消耗品、及び交換部品はなしとする。</p> <p>5) メンテナンス 使用ステージでのメンテナンスは想定しない。</p>

No	大項目	中項目	小項目	取り決め事項
8	製品 データシート (LCI 入力データ)	廃棄・リサイクル ステージ情報	製品の廃棄・ リサイクル条件	1) 標準シナリオの設定 産業廃棄物扱いとして各社で処理シナリオを設定する。 2) オープンリサイクル/リユースを含む場合 次の項目に注意して各社で妥当と判断されるシナリオを設定して計上できる。なお設定の根拠の妥当性は検証の対象となる。 (1)「間接影響」範囲とする工程 (2)「間接影響」範囲内の排除・負荷
9	製品環境情報 データシート (PEIDS)	インベントリ分析	LCI計算式	オープンリサイクル/リユースを含む場合は間接影響と直接影響を分離して計算し、このうち間接影響分を「リサイクル効果」として表現する。 PEIDS では間接影響の合計を「リサイクル効果」欄に記載する。
10		インパクト評価	カテゴリ追加	「オゾン層破壊」、「富栄養化」は含めない。
11	内訳 データシート (製品データ シート関連)	データ加工	アロケーション	統一せず、各社で適宜決定する。
12		データ収集	収集範囲	新製品等でデータを把握できない場合は、設計時又は計画時の条件を含むデータで代用しても良い。
13			カットオフ ルール	組立負荷等についてカットオフを適用する場合は、その旨を明記し、かつその理由を明確にする。
14	内訳データ シート (PEIDS関連) データベース	製品環境 情報 製品仕様 データ公開 内容	共通原単位の 選定	対象>使用するエコリーフ共通原単位 1) 各社が決めた購入部品の組み立て>『部品組立』 2) フレキシ基板、その他実装する基板>『実装回路基板』 3) 電源コード > 芯線:銅40%、被覆材:該当樹脂60% 4) コネクター付ケーブル>ケーブル芯線:銅37%、ケーブル被覆材:該当樹脂56%、コネクターソケット部:該当樹脂3.5%、コネクター端子:銅3.5% (注記: 以上は個別原単位の使用を制限するものではない。)
15			原単位の追加	なし
16			特性化係数の追加	なし
17	製品環境情報	製品仕様	—	1) 商品タイプ 2) 最大収容外線数、内線数 3) 収容外線種別 ・デジタル回線 ・アナログ回線 ・IP 回線 4) 収容内線種別 ・専用電話機 ・単独電話機 ・IPフォン 5) 冗長構成(システム冗長、電源冗長) 6) 設置環境 ・壁掛け ・床置き ・壁掛け床置き兼用 7) 製品質量、製品寸法
18		データ公開 内容	—	1) 必須記載項目 温暖化負荷、酸性化負荷、エネルギー消費量 2) 任意記載事項 ガイドライン指定の7項目 3) Eセクション下部 注記内容 『使用期間5年』を想定しています。 『使用時の消費電力はカタログに同時記載の〇〇電話機を使用しています』 4) Eセクション 表現方法 各ステージ及びステージ合計の温暖化負荷(CO <sub>2</sub> 換算)を棒グラフで記載する。 5) オープンリサイクル/リユースを含む場合、ステージ毎の「リサイクル効果」は実際に発生した負荷とは分離して点線で表示する。

No	大項目	中項目	小項目	取り決め事項
19	その他環境情報	選択記載事項	—	<p>当該製品の環境特性に係る、第三者による事実確認が可能な下記の情報を記載できる。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) タイプ I および/またはタイプ III の環境ラベル</li> <li>2) ISO14001 認証の取得</li> <li>3) または工業会等の認証・認定・表彰</li> <li>4) 有害物質使用状況 鉛・水銀・カドミウム・六価クロム・ポリ臭化ビフェニール (PBB) ・ポリ臭化ジフェニールエーテル (PBDE) の6物質の使用の有無 なお情報公開の対象部分が限定される場合にはそれを明示する。</li> <li>5) 環境配慮型素材の情報 該当部を指定し素材名を明記する。</li> </ol>

### PCR レビューの実施

レビュー実施日(制定)	2005/10/13
有効期限	2014/1/31
エコリーフ審議委員会	代表:内山 洋司 所属:筑波大学大学院

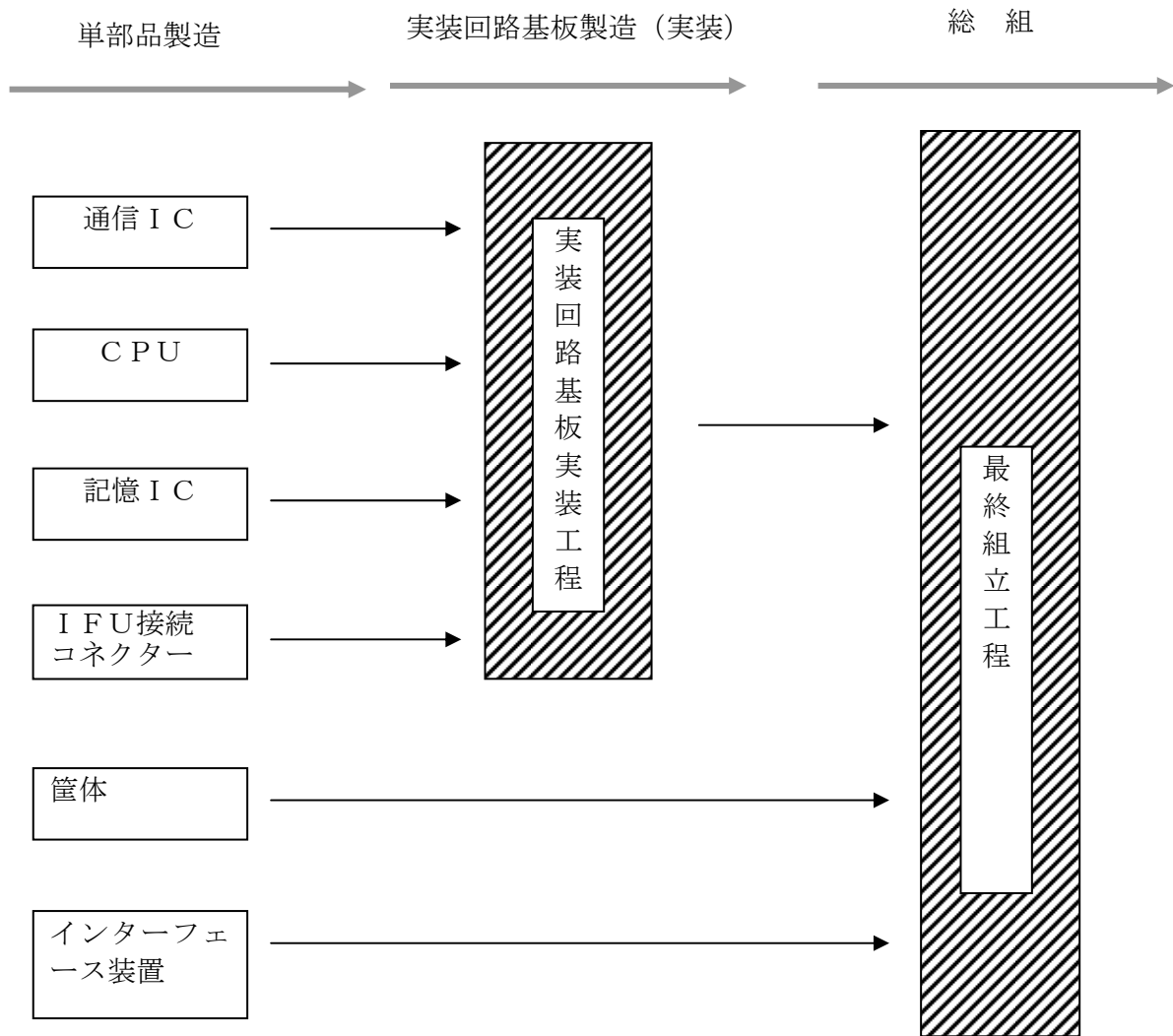
### 本 PCR の改訂等履歴

実施日	訂番	実施内容
2005/10/13	01	制定
2011/2/1		更新

# 付図1 PBXシステム

## 素材・製造ステージ負荷の把握方法（項番 4 関連）

下図の斜線部分を実測し、その他の部分は原単位を使用して算定する。



## 製品分類別基準(PCR)制定規程(R-06)の改訂による PCR項目順の変更について

2008年5月1日の規程改訂により、製品分類別基準(PCR)の項目の順番が変更された。本PCRは規定改訂前に制定されたものであるため、以前の項目の順番としている。以下に、規程改訂前後のPCR項目の対応関係を示す。

### <規定改定前のPCR項目>

### <規定改定後のPCR項目>

No.	規定改定前のPCR項目		No.	規定改定後のPCR項目	関連様式
				【LCA調査の範囲の設定とラベル開示の内容】	
1	製品の定義	→	1	製品の定義	-
2	製品構成要素と評価単位	→	2	製品構成要素と評価単位	-
3	製品ライフサイクルステージ	→	3	製品ライフサイクルステージ	-
		}	4	製品の仕様	PEAD
			5	LCAデータの公開内容	PEAD
			6	新旧製品比較	PEAD
			7	その他エコデザイン関連情報	PEAD
				【システム領域およびデータ収集条件の設定】	
4	原料・部品の構成	→	8	製品の原料・部品構成	内訳DS(製品)、PDS
5	製造ステージにおけるデータ収集条件	→	9	製品製造ステージにおけるモデル化・データ区分等	内訳DS(製造サイト)、PDS
6	物流ステージにおけるデータ収集条件	→	10	物流ステージにおけるモデル化・データ区分等	内訳DS(物流)、PDS
7	使用ステージにおけるデータ収集条件	→	11	使用ステージにおけるモデル化・データ区分等	内訳DS(使用)、PDS
8	廃棄・リサイクルステージにおけるデータ収集条件	→	12	廃棄・リサイクルステージにおけるモデル化・データ区分等	内訳DS(廃棄・リサイクル)、PDS
9	LCI FGD/BGD データ収集/処理	}	13	カットオフルール	内訳DS(各ステージ)、PDS
10	LCIA インパクトカテゴリ		14	収集データの品質要件	内訳DS(各ステージ)、PDS
			15	収集データのアロケーション	内訳DS(各ステージ)、PDS
11	アロケーション	}		【インベントリ計算】	
12	データ収集範囲		16	LCI 計算の考え方	内訳DS(各ステージ)、PEIDS
13	カットオフルール		17	LCI 共通原単位の使用条件	内訳DS(各ステージ)、PEIDS
14	LCI BGD 近似代替	→		【ライフサイクル影響評価(特性化)】	
15	LCI BGD PCR原単位	→	18	LCIA インパクトカテゴリおよび特性化係数の追加	内訳DS(各ステージ)、PEIDS
16	LCIA BGD 特性化係数の追加	→			
17	製品の仕様	}			
18	LCAデータの公開内容				
19	その他環境関連情報				